



島根県内で見つけた「エシカル」につながる（エシカってる）行動や事柄を Facebook で紹介しています。

vol.5 柚子の値段 買わずに手に入る物の価値

Upload:
2021/11/24

「柚子、要らない？もったいないから採って帰って。」
休日の出先で、そう声を掛けられ、高枝切り鋏を借り受けて20個ばかりの柚子を収穫した。実家の柚子も、そろそろ採り頃だろうか。そういえば、産まれてこの方、柚子という果実を「購入」したことがないな・・・柚子の香が満ちる帰路の車中で、そんなことを考えた。

買い物に立ち寄ったスーパーの柚子は、2個で230円。高いのか？安いのか？買ったことがないものだから、そんな価値も分からない。ネットで調べると、農家から直取引で780円/kgから始まって、ネットショップの高級品3,000円/kgまで様々な柚子が見つかる。



「商品」となると、そういう価格になるのか。価格の差はどこにあるのだろうかとしばらく画面を見つめてみる。

島根の中山間地域に暮らしていると、柿や、イチジクや、栗などなど、庭先や裏山で採れたり、知人からおすそ分けが回ってきたり、毎年なんとなく買わずに入手できるもの。大切に栽培され、市場に出回る品々の価格を見ると自然の恵みにしみじみ感謝する。

食味よく傷なく栽培する手間、糖度や大きさごとに選果する手間、流通にかかるコストなど、掛かる費用や対価の含まれた「値段」の意味を読み解き、納得して購入する。

私たちが毎日繰り返している「消費」とは、元来そういう行動のはずだ。

商品棚の間を歩いて気に入ったものをカゴに入れていく、あるいは、ネットの画面を見てポチッとするスタイルの買い物方法に慣れてきた私たち。「値段」という数字以外の情報をどれだけ収集できているのだろう。今、手の中にある「商品」の来し方行く末を都度気に掛けるのも、この情報社会では大変だけれど。

自然の实り豊かな島根の土地に暮らしていると、買わずに入手した農産物や海産物の市場価格を知ること逆引きに「エシカル消費」の意味を感じることも多いのかもしれない。

「エシカル消費」の推進

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。

「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。

詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課

消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）

〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター

Facebookは
こちらから→



facebook.com/Shimane.CIC